



山本建設株式会社  
YAMAMOTO Construction Co.,Ltd

# 環境経営レポート 2024



ヤマちゃん



ケンちゃん

— 第16版 —

2025年 9月 1日 発行

(対象期間:2024年8月-2025年7月)

私たちは、地域と  
地域の環境に配慮した  
事業者です



エコアクション21  
環境省  
認証番号0007290

# 代表者挨拶

当社は1951年創立(1970年法人登記)以来、高知県幡多郡黒潮町佐賀で建設業を営んで参りました。

道路・河川を中心とした一般土木工事、港湾漁港工事・しゅんせつ工事を中心とした海洋土木工事の二つの事業を両輪に、建築工事や造園工事等を手掛ける企業として、地域社会の発展、社会資本整備の一翼を担って参りました。

当社の経営理念である、「真心と技術で社会とお付き合い」を基本に「変化の時代」に対応し、環境への配慮、進化する技術への対応、品質・コスト・納期・安全への意識、労働環境の向上等に鋭意取り組んで参りました。

又、黒潮町においては南海トラフ大地震による大津波発生が懸念されることから、事業継続計画(BCP)を策定し、国土交通省の認定を受け対応しています。

エコアクション21への取り組みは2011年7月に認証登録し、本年9月で14年2ヶ月を経過、これまでの取組効果としては、以下の点が挙げられます。

- ① CO<sub>2</sub>排出量削減をもたらせています。  
燃料使用量、電気使用量及び水使用量等資源の節約が実際にデータとして確認されています。生産性が向上しかつ経費の削減となっています。
- ② 建設業の現場において環境に配慮した工事に取り組み、現場での創意工夫した取り組みが実施され発注者から評価をいただいています。
- ③ 社員全員での取り組みにより、環境への意識が高まり一体感が創出されています。
- ④ 地域での清掃活動、環境活動や環境団体への支援により、企業として社会貢献をさせていただいております。
- ⑤ 社員の家族を含め、環境への取り組みが行われています。
- ⑥ 持続可能な開発目標の達成に向けて、SDGs活動にも積極的に取り組んでいます。

今後とも郷土の社会資本整備に向けて、環境に配慮した建設事業の実現を目指して、より一層エコアクション21に継続して取り組むこととします。

2025年 9月 1日  
山本建設株式会社  
代表取締役 山本 浩司

# 目次

1.	組織の概要	1
2.	対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	2
3.	SDGs宣言	3
4.	環境経営方針	5
5.	環境管理組織体制・役割・責任・権限	6
6.	環境経営活動への取組の全体概要	7
7.	環境経営目標	8
8.	環境経営計画	9
9.	環境経営目標の実績	10
10.	環境経営計画の取組結果とその評価	16
11.	次年度環境経営計画と取組内容	18
12.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無	19
13.	代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	21
14.	環境活動の取組内容	22

発行日 2025年9月1日

発行責任者 代表取締役 山本浩司



黒潮町佐賀 鹿島ヶ浦（幡多十景）と山本建設

# 1. 組織の概要

## 【事業者名及び代表者氏名】

山本建設株式会社 代表取締役 山本 浩司

## 【所在地】

本社 〒789-1720 高知県幡多郡黒潮町佐賀2988番地  
荷稻資材倉庫 〒789-1705 高知県幡多郡黒潮町荷稻野中682-1

## 【環境管理責任者及び担当者と連絡先】

環境管理責任者及び担当者 工事部部长 打井 幸一  
連絡先 TEL 0880-55-3141  
FAX 0880-55-3143  
E-mail [kouichi@yama-ken.jp](mailto:kouichi@yama-ken.jp)  
URL <https://yama-ken.jp/>

## 【事業活動の内容】

建設業(主に土木工事、建築工事を行なっています)

高知県知事許可(特/般-4)第1041号		
建設業の種類		許可年月日
特定建設業	土木工事業 建築工事業 しゅんせつ工事業 とび・土工事業 水道施設工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業 解体工事業	2022年6月4日
一般建設業	管工事業 造園工事業	

※上記各号に付帯関連する一切の業務

## 【事業規模】

設立年月日 1970年4月30日  
資本金 3,000万円

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	1,347	1,443	994
役職員数	人	33	32	32
事務所敷地面積	m <sup>2</sup>	626.36	626.36	626.36
事務所延べ床面積	m <sup>2</sup>	884.2	884.2	884.2
荷稻資材倉庫面積	m <sup>2</sup>	405	405	405

※会計年度 8月~翌年7月

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日



### 【対象範囲(認証・登録範囲)】

山本建設株式会社 全社(全組織・全活動・全従業員)

### 【所在地】

- ・本社 高知県幡多郡黒潮町佐賀2988番地
- ・荷稻資材倉庫 高知県幡多郡黒潮町荷稻野中682-1

### 【事業活動】

建設業

- ・土木工事業
- ・建築工事業
- ・しゅんせつ工事業
- ・とび・土工工事業
- ・水道施設工事業
- ・鋼構造物工事業
- ・舗装工事業
- ・解体工事業
- ・管工事業
- ・造園工事業

### 【環境経営レポート対象期間】

2024年 8月 ~ 2025年 7月

### 【環境経営レポート発行日】

2025年 9月 1日

### 【作成責任者】

環境管理責任者 工事部部长 打井 幸一

### 3. SDGs宣言

## 山本建設株式会社 SDGs宣言

「真心と技術で社会とお付き合い」の環境経営理念に基づき、環境問題、地域貢献、充実した職場環境を目指し、安心・安全なまちづくりに貢献します。

#### 安心・安全なまちづくり

建設業として生活基盤であるインフラ整備を通じ社会へ貢献すると共に、事業継続計画の策定により災害時において、迅速な対応ができる体制の構築、国土強靱化工事など地域政策に積極的に参画することで、災害に強い安心・安全なまちづくりを目指します。



#### 環境問題

廃棄物の低減、CO<sub>2</sub>削減、グリーン購入率の向上、環境に配慮した工法の提案及び施工により、環境対策を実践します。



#### 地域貢献

インターンシップ等の教育プログラムへの協力や、地域での清掃活動、環境活動、環境団体への支援により地域の企業として、関係機関と連携し社会貢献を実践します。



#### 充実した職場環境

働き方改革の推進を図り、健康診断後の保健指導を積極的に実施、女性社員の活躍ができる職場環境のサポート、社員の教育・研修を積極的に実施することで「時間を有効に」「疲労の軽減」「生産性の向上」に向けて、充実した職場環境を目指します。



2021年 3月 1日  
山本建設株式会社

# 山本建設は、持続可能な未来を築くためにSDGsに取り組んでいます



県内企業を対象にSDGsを意識した取り組みを促進するため、  
2021年10月「こうちSDGs推進企業登録制度」が設立されました。  
当社も2021年10月22日より、こうちSDGs推進企業として登録されています。



## SDGs達成に向けた宣言書

	SDGs達成に向けた 重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況
環境 社会 経済	・建設施工段階において 排出されるCO <sub>2</sub> 排出量 の削減	・CO <sub>2</sub> 排出量10%削減 (2021:121t(7月)⇒2030:108t)	2023年度:126t ・年1回CO <sub>2</sub> 排出量を算出 (2021/10⇒2024/10)
環境 社会 経済	・継続的な社会貢献・ 地域貢献に取り組む	・社会貢献・地域貢献活動の展開 (2021:12回⇒2030:15回)	14回 ・ロードボランティア活動 12回 ・佐賀の伊与木川を守る会 2回 (2021⇒2024)
環境 社会 経済	・学校および行政機関等 と連携し講習等を行い、 新規での地域雇用の 創出・確保	・6名の地域雇用創出 (2021:1名⇒2030:6名)	地域雇用3名 ・出前授業の実施や職場体験 6名の受け入れを行った (2021/10⇒2024/10)

## 4. 環境経営方針

### 経営理念

山本建設株式会社は、「真心と技術で社会とお付き合い」の精神で高知県幡多地域の発展と建設事業を通じて地域に貢献することを目指していくと共に、事業活動を行っている企業として環境への影響を考慮し、幡多地域の環境保全に向けて全社で自主的積極的に環境経営に取り組み、継続的に環境負荷の削減に取り組めます。

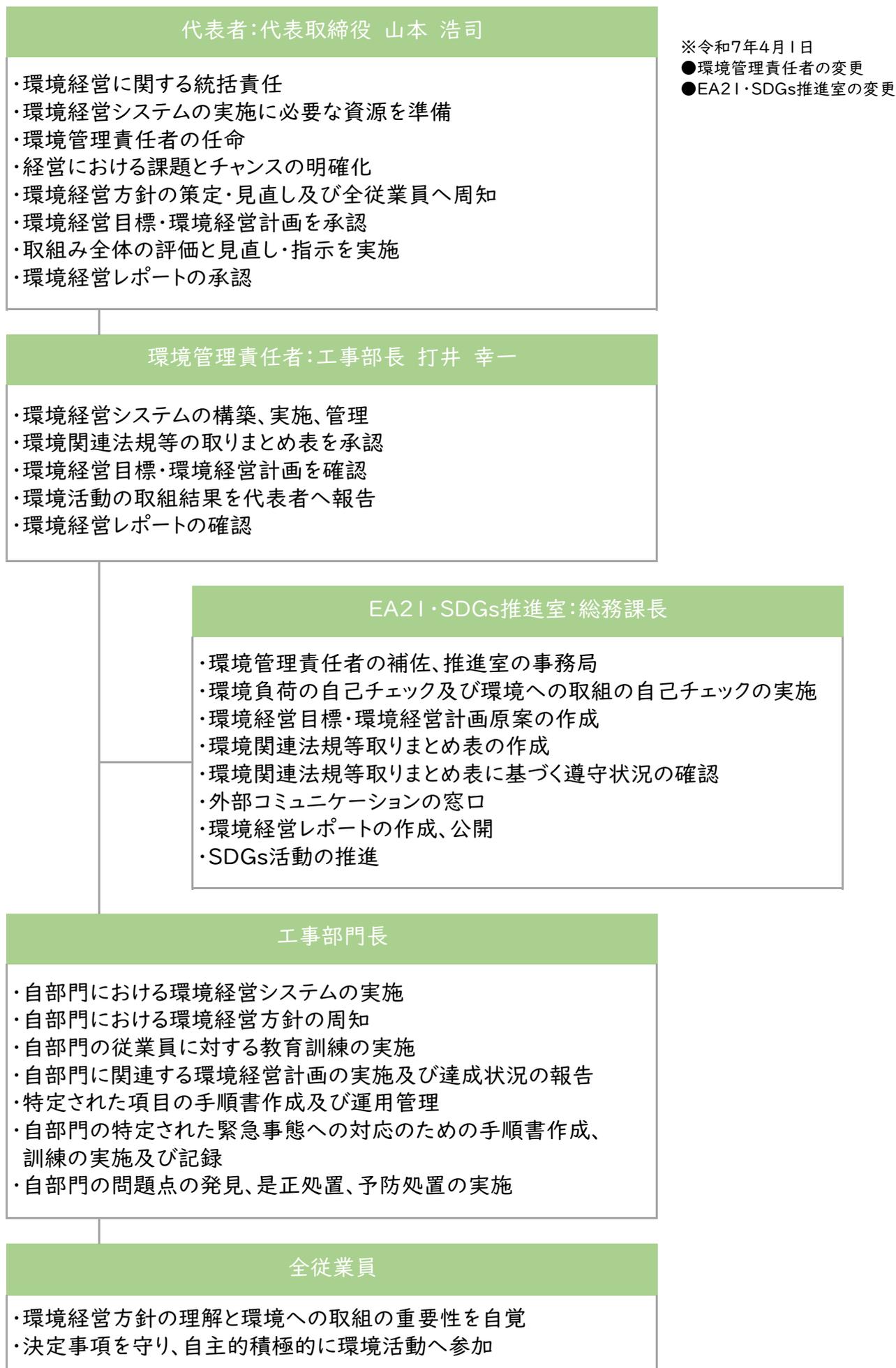
### 基本方針

- 1) 当社は、事業活動において環境に関する法規・条例を遵守し、全社員に周知し環境保全に取り組めます。
- 2) 環境教育を充実します。
- 3) 重機・車両の燃料使用量を抑制し節電に努め、本社・建設工事で使用する電気使用量の二酸化炭素排出量を削減します。
- 4) 節水活動により、水使用量を削減します。
- 5) 本社・建設工事で発生する廃棄物排出量の削減及びリサイクルを推進します。
- 6) 環境に優しい資材の使用を促進し、周辺環境に配慮した設計・施工に取り組めます。
- 7) 建設工事における騒音、振動の低減、濁水防止、防塵対策を図ります。
- 8) 自然環境保全のため、生物多様性を配慮します。
- 9) グリーン購入や調達を積極的に推進します。
- 10) 地域周辺の環境に対する貢献やボランティア活動へ積極的に参加するとともに地元地域の各種催事・イベントへの協力及び参加を推進します。
- 11) 環境経営方針を達成する為、環境経営目標を設定し、全従業員が分担して取り組むと共に、定期的に見直し継続的な改善を図ります。
- 12) 環境経営レポート等環境情報については、広く外部へ公表します。
- 13) 持続可能な開発目標の達成に向けて、SDGs活動に取り組んでいきます。

2010年10月30日 制定  
2021年10月01日 改定  
2023年10月01日 改定

山本建設株式会社  
代表取締役 山本 浩司

## 5. 環境管理組織体制・役割・責任・権限



## 6. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「エコアクション21建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷のチェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

### マテリアルバランス



### 全体概況

#### ■ CO<sub>2</sub>排出量

今年度は目標値を見直し、環境活動計画に取り組みました。  
化石燃料・・・目標達成となりました。  
購入電力・・・目標達成となりました。

#### ■ 水使用量

目標は未達成。現場事務所にて凍結による水漏れがみられ是正措置により適正に対処した。

#### ■ 廃棄物排出量

一般廃棄物排出量・・・大幅に削減できました。  
産業廃棄物排出量・・・工事内容にもよりますが、目標達成となりました。

#### ■ グリーン購入

取組みは順調、今後もグリーン商品の選定および購入に努めます。

#### ■ 環境に配慮した施工の提案・実施

全工事で行いました。

#### ■ 地域貢献・社会貢献活動

毎月のロードボランティア活動の実施や環境団体への支援、さらに地元の学校への出前授業やインターンシップの受け入れを行いました。

## 7. 環境経営目標

### 【単年度及び中長期目標】

■基準値 過去2年間(2022~2023年度)の実績を平均した値より設定

■対象期間 各年度 会計年度 8月~翌年7月

環境目標	単位	基準値 平均売上高 1,395百万円	単年度目標	中長期目標		
			2024年度 -0.3%削減	2025年度 -0.5%削減	2026年度 -1%削減	2027年度 -1.5%削減
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	120,074	119,714	119,474	118,873	118,273
売上高百万円あたり原単位	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	86	86	86	85	85
(1)燃料使用量の削減	ℓ	37,246	37,134	37,060	36,874	36,687
売上高百万円あたり原単位	ℓ/百万円	27	27	27	27	27
(2)電力使用量の削減	kWh	70,119	69,909	69,768	69,418	69,067
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	219	218	218	217	216
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量削減	kg	100	100	99	99
	産業廃棄物排出量削減	t	2,305	2,298	2,293	2,282
	産業廃棄物再資源化率の向上	%	85	88	88	88
グリーン購入の推進	%	51	51	55	55	55
環境に配慮した施工の提案・実施 (※1)	件	全件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動	回	13	13	13	14	15
若手技術者(女性含む)の採用		-		2030年までに6名		

\* 二酸化炭素排出係数:0.454 [ kg-CO<sub>2</sub>/kWh ] 四国電力の調整後排出係数(2023年12月22日公表)

\* 原単位の評価対象:CO<sub>2</sub>排出量・燃料使用量

原単位の算出については、各項目の値を平均売上高で除する

\* LPG使用量は極端に数量が少ないため目標を設定していない

\* 化学物質は使用していない為、目標設定していない

\* 産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100

\* グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

(※1)環境に配慮した施工内容

- ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・濁水防止対策の実施
- ・近自然型工法等の導入
- ・ICT工法等の導入

# 8. 環境経営計画

期間:2024年8月 ~ 2025年7月

活動内容		担当者	関連SDGs
CO <sub>2</sub> 排出量削減	(1)燃料使用量削減 ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り	工事部長、各現場代理人	 
	(2)電力使用量削減 ・不要照明の消灯、節電の徹底 ・クールビズ・ウォームビズの推奨 ・エアコン温度の厳守(冷房27℃±1℃、暖房26℃±2℃) ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定	EA21推進室、各現場代理人	 
	・エアコンフィルターの清掃(季節の変わり目)	各現場代理人及び総務部	
水使用量削減			
廃棄物排出量削減	・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施(月1回)	総務課長、各現場代理人	
	一般廃棄物排出量削減 ・両面印刷及び裏紙使用の推進 ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認し、印刷ミスを防止	各部門長、現場代理人	
	産業廃棄物排出量削減 ・産業廃棄物の分別を徹底 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに適正な管理・処理を行う	各現場代理人	
	・リサイクル率の向上	各部門長、現場代理人	
グリーン購入の推進			
	・エコマーク商品の優先購入(事務用品、日用品等) ・古紙率の高いコピー用紙の購入	総務部	
環境に配慮した施工の提案・実施			      
	・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入	各現場代理人	
社会貢献活動			 
	・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動(清掃活動)の参加	工事部主任	
	・環境団体への支援	代表者(社長)	 
社内活動・採用活動			 
	・職場体験やインターンシップの受入 ・出前授業の実施・合同説明会の参加	代表者(社長)	
SDGs活動			
	・SDGsへの取り組み	全社員	

## 9. 環境経営目標の実績

### 1) 2024年度環境経営目標の実績

- 基準値 過去2年間(2022~2023年度)の実績を平均した値より設定
- 対象期間 各年度 会計年度 8月~翌年7月
- 売上高 994百万円

環境目標		単位	基準値 平均売上高 1,395百万円	目標	実績	達成状況	評価
CO <sub>2</sub> 排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	120,074	119,714	95,123	126%	○ 2点
売上高百万円あたり原単位		kg-CO <sub>2</sub> /百万円	86	86	96	90%	△ 1点
(1)燃料使用量の削減		ℓ	37,246	37,134	28,635	130%	○ 2点
売上高百万円あたり原単位		ℓ/百万円	27	27	29	93%	△ 1点
(2)電力使用量の削減		kWh	70,119	69,909	61,095	114%	○ 2点
水使用量の削減		m <sup>3</sup>	219	218	277	79%	× 0点
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量削減	kg	100	100	61	164%	○ 2点
	産業廃棄物排出量削減	t	2,305	2,298	1,451	158%	○ 2点
	産業廃棄物再資源化率の向上	%	85	88	98	111% 達成	○ 2点
グリーン購入の推進		%	51	51	51	100% 達成	○ 2点
環境に配慮した施工の提案・実施		件	全件	全件	全件	100%	○ 2点
社会貢献活動		回	13	13	14	108%	○ 2点
若手技術者(女性含む)の採用			2030年までに6名		2	233%	○ 2点

評価凡例: [○]達成 100% ≦ 2点  
 : [△]ほぼ達成 90% ~ 100% 1点  
 [×]未達成 90% ≧ 0点  
 総合計が85%以上で達成

合計点数 22点  
 達成率 85%  
 (目標達成)

- \* 二酸化炭素排出係数:0.454 [ kg-CO<sub>2</sub>/kWh ] 四国電力の調整後排出係数(2023年12月22日公表)
- \* 原単位の評価対象:CO<sub>2</sub>排出量・燃料使用量  
 原単位の算出については、各項目の値を平均売上高で除する
- \* LPG使用量は極端に数量が少ないため目標を設定していない
- \* 化学物質は使用していない為、目標設定していない
- \* 産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100
- \* グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

## 2) 活動結果の推移

### CO<sub>2</sub>排出量

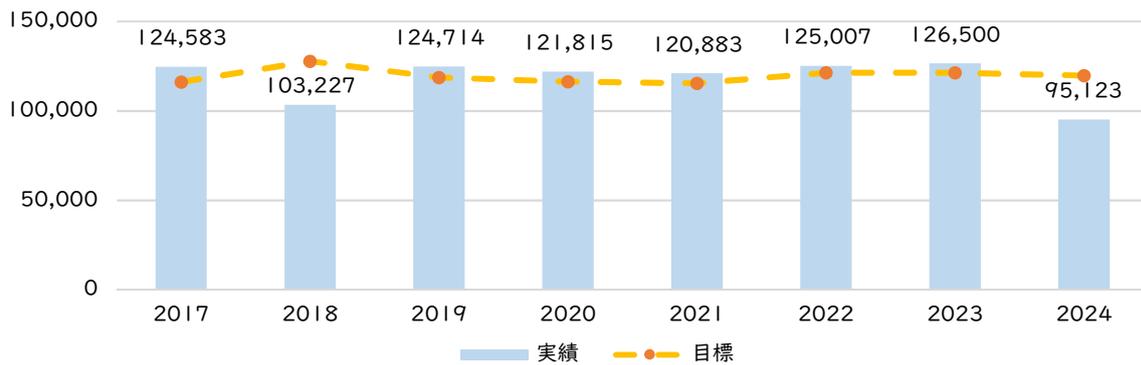
#### ① CO<sub>2</sub>排出量の削減

<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

目標 **119,714** ⇒ 実績 **95,123** 21% 削減  
 kg-CO<sub>2</sub> kg-CO<sub>2</sub>



#### CO<sub>2</sub>排出量の推移 [ kg-CO<sub>2</sub> ]

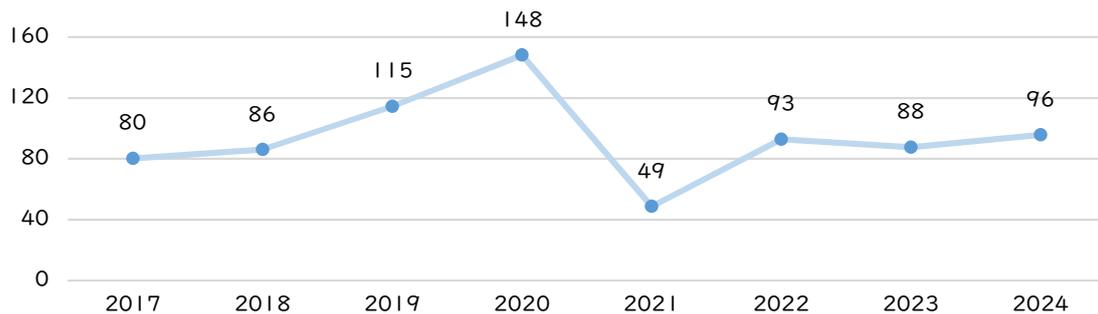


#### ② 売上高百万円あたりの原単位

目標 **86** ⇒ 実績 **96** 12% 増加  
 kg-CO<sub>2</sub>/百万円 kg-CO<sub>2</sub>/百万円



#### 原単位の推移 [ kg-CO<sub>2</sub>/百万円 ]



※CO<sub>2</sub>排出量自体は2018、2024年度を除いて横ばいだが、原単位については売上高により大きく変動している

#### 評価

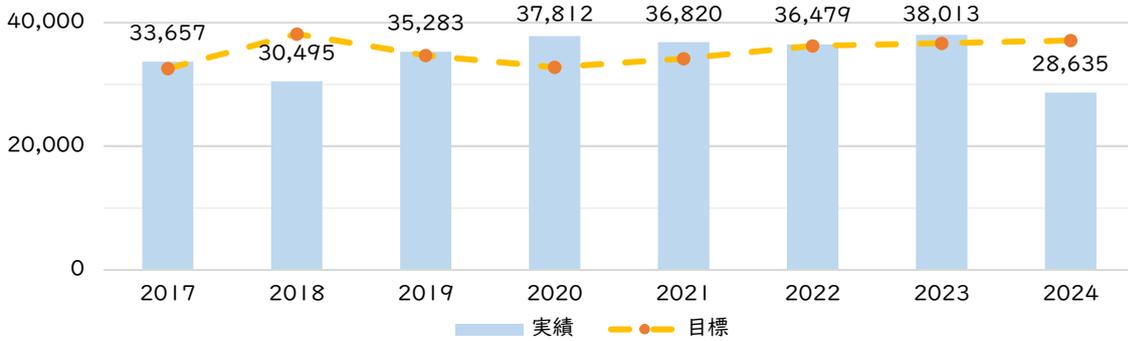
目標の見直しを行い、燃料使用量・電力使用量ともに削減できたことから、CO<sub>2</sub>排出量は目標より21%削減することができました。売上高百万円あたりの原単位は12%増となりましたが、売上高に左右されるところもあります。本社、現場でのひとりひとりの心がけと日々の積み重ねによりCO<sub>2</sub>排出量は目標達成となりました。今後も継続しさらに削減できるように精進します。

① 燃料使用量の削減

目標 37,134 ℓ ⇒ 実績 28,635 ℓ 23% 削減



燃料使用量の推移 [ ℓ ]

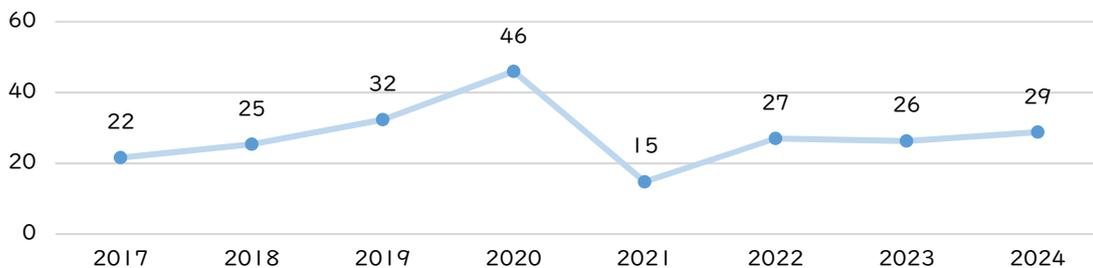


② 売上高百万円あたりの原単位

目標 27 ℓ/百万円 ⇒ 実績 29 ℓ/百万円 7% 増加



原単位の推移 [ ℓ / 百万円 ]



※CO<sub>2</sub>排出量同様、燃料使用量は2018、2024年度を除いて横ばいだが、原単位は売上高により大きく変動している

評価

燃料使用量は目標達成。売上高百万円あたりの原単位は増加となってしまいましたが、前年度と比較すると工事件数が少なく、工事内容、建設現場も近距離にあったことや、古くなったダンプの入替や建設機械の新規導入により燃料使用量削減につながりました。

▼維持工事作業車(3t)の入れ替え



▼環境に配慮した超低騒音型建設機械の導入



## 電力使用量

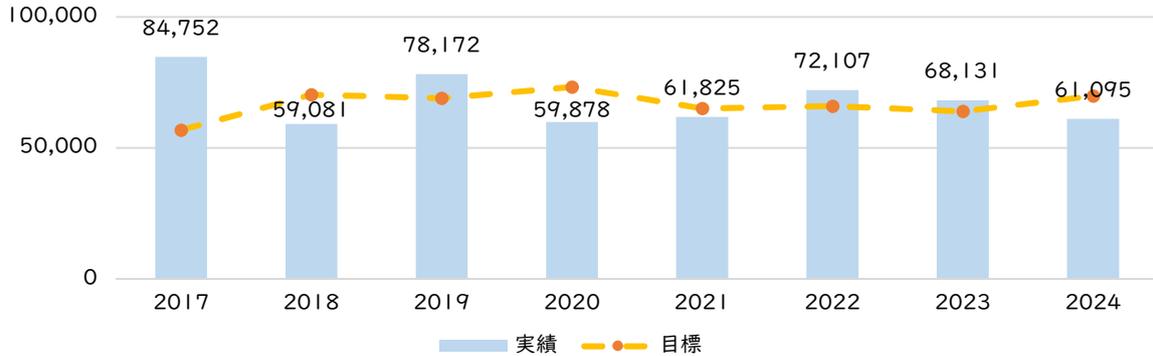
### 電力使用量の削減

<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

目標 **69,909** kWh ⇒ 実績 **61,095** kWh **13% 削減**



### 電力使用量の推移 [ kWh ]



#### 評価

本社事務所の電気使用量は、お昼休みの消灯や使用していないコンセントを抜くなどみんなの節電意識の継続により削減されています。現場の電気使用量は工事内容により左右されるところがありますが、現場事務所の設置件数が前年度より減少したこともあり、電力使用量の全体的な減少につながりました。目標の見直しも行い目標達成となりました。

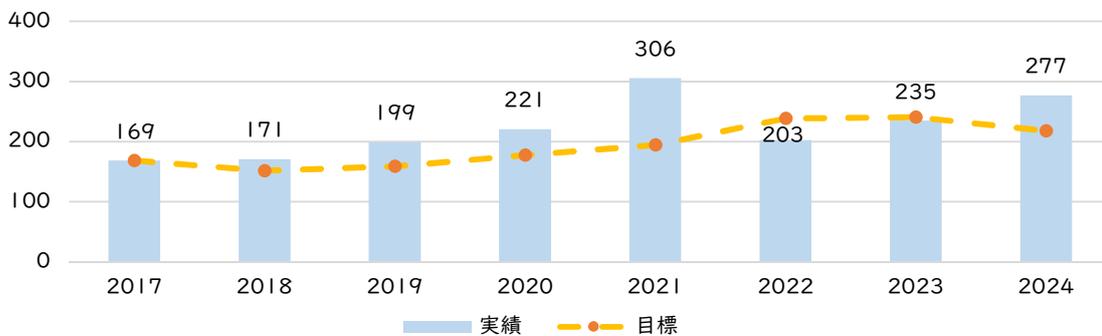
## 水使用量

### 水使用量の削減

目標 **218** m<sup>3</sup> ⇒ 実績 **277** m<sup>3</sup> **27% 増加**



### 水使用量の推移 [ m<sup>3</sup> ]



#### 評価

目標は未達成。前年度比18%増加となった。主な要因としては、社用車の洗車や現場事務所にて凍結による水道管の破裂で使用量が増加したとみられる。特に冬は蛇口にタオルを巻いたり、おき出しの水道パイプにはプチプチのビニールを巻くなどして対策に努める。引き続き節水活動に取り組む。

① 一般廃棄物排出量の削減

目標 100 kg ⇒ 実績 61 kg 39% 削減



一般廃棄物排出量の推移 [ kg ]



評価

目標達成。前年度よりもさらに削減することができました。引き続きゴミの分別に努め、リサイクルの推進を継続します。

② 産業廃棄物排出量の削減

目標 2,298 t ⇒ 実績 1,451 t 37% 削減

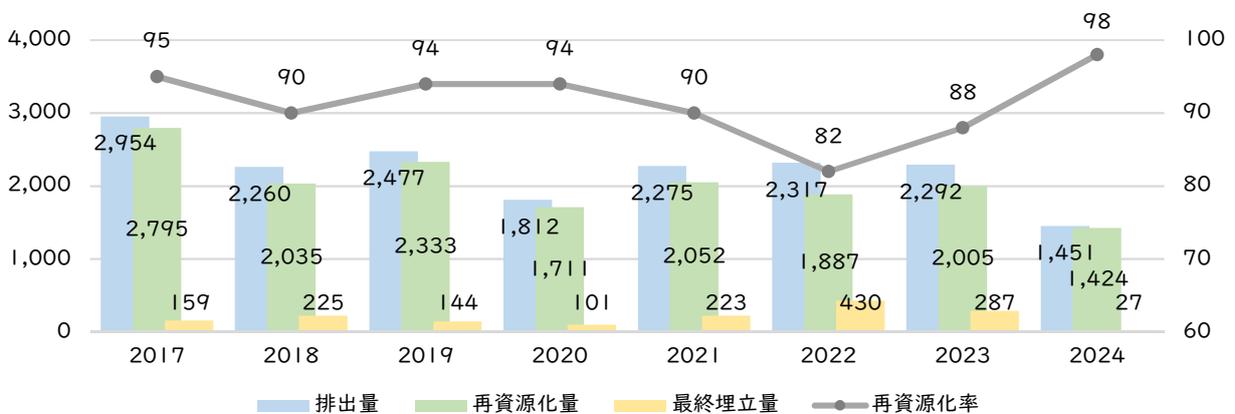


③ 再資源化率の向上

目標 88 % ⇒ 実績 98 % 111% 達成



産業廃棄物排出量及び再資源化量、最終埋立量 [ t ] と再資源化率の推移 [ % ]



評価

工事内容により産業廃棄物の排出量が左右されますが、産業廃棄物分別の徹底もできていて、前年度と比べても再資源化率10%アップしました。今後も継続します。



▲産廃コンテナの分別

## グリーン購入の推進

### グリーン購入の推進

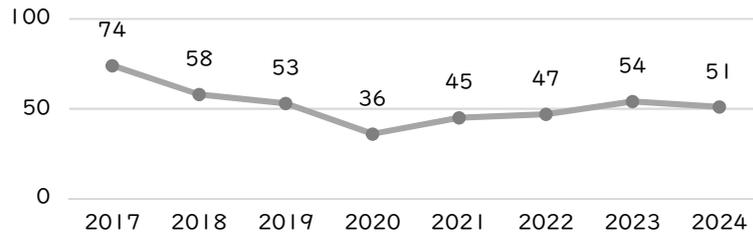
<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

目標 51% ⇒ 実績 51% 達成状況 100% 達成 評価



評価 前年度に引き続き、目標達成となりました。購入時に迷ったときには、優先して環境に配慮した商品を選ぶように心がけています。

### グリーン購入率の推移 [%]

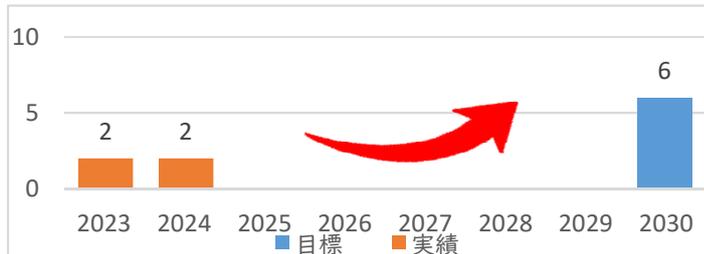


## 若手技術者(女性含む)の採用

目標 2030までに6名 ⇒ 実績 2名 達成状況 233% 達成 評価



### 若手技術者(女性含む)の採用の推移 [名]



## エネルギーコストの推移

単位:円

項目	2021年度 工事件数22件	2022年度 工事件数22件	2023年度 工事件数29件	2024年度 工事件数15件
売上高	2,484	1,347	1,443	994
ガソリン	4,802,048	5,231,640	5,579,186	4,636,064
軽油	1,295,570	994,533	1,117,322	547,059
灯油	70,554	49,998	20,176	36,232
電力	1,919,127	2,470,933	2,159,108	1,797,406
合計金額	8,087,299	8,747,104	8,875,792	7,016,761

※売上高(百万円あたり)

※電気代の値上げや物価高騰などによって大きく変動がある

売上高あたりのエネルギーコスト比率	2021	2022	2023	2024
	0.3%	0.6%	0.6%	0.7%

エネルギーコスト比率=エネルギーコスト(百万円)/売上高(百万円)×100

CO <sub>2</sub> 1 tあたりのエネルギーコスト	2021	2022	2023	2024
	6.7万円	7.0万円	7.0万円	7.4万円

CO<sub>2</sub>排出量(t-CO<sub>2</sub>) 121 125 127 95

CO<sub>2</sub> 1 tあたりのエネルギーコスト=エネルギーコスト(万円)/CO<sub>2</sub>排出量(t-CO<sub>2</sub>)

# 10. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間:2024年8月 ~ 2025年7月

活動内容		評価	取組結果	関連SDGs
CO <sub>2</sub> 排出量削減	(1)燃料使用量削減 ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り	良好 良好 良好 良好 良好	取り組みは実施・徹底できている。今後もエコドライブに努める。	 
	(2)電力使用量削減 ・不要照明の消灯、節電の徹底 ・クールビズ・ウォームビズの推奨 ・エアコン温度の厳守(冷房27℃±1℃、暖房26℃±2℃) ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定 ・エアコンフィルターの清掃(季節の変わり目)	概ね良好 良好 概ね良好 良好 良好	定例会にて節電を呼び掛けた。引き続き節電の実施・徹底に取り組む。	 
	水使用量削減 ・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施(月1回)	概ね良好 良好 良好	定例会にて節水・漏水点検の周知を呼び掛けた。	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減 ・両面印刷及び裏紙使用の推進 ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認し、印刷ミスを防止	良好 良好 良好	実施できている。次年度も継続する。	
	産業廃棄物排出量削減 ・産業廃棄物の分別を徹底 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに適正な管理・処理を行う ・リサイクル率の向上	良好 良好 良好	工事内容に左右されるが実施できている。分別の徹底と適正な管理・処理を継続する。	
	グリーン購入の推進 ・エコマーク商品の優先購入(事務用品、日用品等) ・古紙率の高いコピー用紙の購入	良好 良好	今後も選定していく。	
環境に配慮した施工の提案・実施 ・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入		良好 良好 良好 良好 良好 良好 良好 良好	環境に配慮した施工は全工事で取り組み、「環境配慮チェックシート」については主要工事(6件)で実施している。	       
社会貢献活動 ・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動(清掃活動)の参加 ・環境団体への支援		良好 良好 良好	積極的に実施・参加ができた。引き続き取り組んでいく。	   
社内活動・採用活動 ・職場体験やインターンシップの受入 ・出前授業の実施・合同説明会の参加		良好 良好	引き続き実施・参加する。	 
SDGs活動 ・SDGsへの取り組み		良好	今後も継続する。	

# 10-1. 環境経営計画の実施記録

期間:2024年8月 ~ 2025年7月

凡例:5点 取り組んでいる、3点 時々取り組んでいる、1点 あまり取り組めていない、- 該当なし

活動内容		部署	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計	全体評価
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料使用量削減	現場	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
	電力使用量削減	全部署	5	5	5	5	3	3	5	5	5	5	5	5	56	4.7
水使用量削減	一般廃棄物排出量削減	全部署	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
産業廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	現場	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
グリーン購入の推進	環境に配慮した施工の提案・実施	本社	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
社会貢献活動	社内活動・採用活動	全部署	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
SDGs活動	SDGs活動	全部署	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5

# 11. 次年度環境経営計画と取組内容

期間:2025年8月 ~ 2026年7月

活動内容 (※)は見直し及び新規追加活動		担当者	関連SDGs
CO <sub>2</sub> 排出量削減	(1)燃料使用量削減 ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り	工事部長、各現場代理人	 
	(2)電力使用量削減 ・不要照明の消灯、節電の徹底 ・クールビズ・ウォームビズの推奨 ・エアコン温度の厳守(冷房27℃±1℃、暖房26℃±2℃) ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定	EA21推進室、各現場代理人	 
	・エアコンフィルターの清掃(季節の変わり目)	各現場代理人及び総務部	
水使用量削減			
	・節水の呼び掛け ・漏水点検の実施(月1回)	総務課長、各現場代理人	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減 ・両面印刷及び裏紙使用の推進 ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認し、印刷ミスを防止	各部門長、現場代理人	
	産業廃棄物排出量削減 ・産業廃棄物の分別を徹底 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに適正な管理・処理を行う	各現場代理人	
	・リサイクル率の向上	各部門長、現場代理人	
グリーン購入の推進			
	・エコマーク商品の優先購入(事務用品、日用品等) ・古紙率の高いコピー用紙の購入	総務部	
環境に配慮した施工の提案・実施			      
	・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 (※)土砂流出及び濁水防止対策の実施 (※)粉塵・防塵対策の実施 ・ICT工法等の導入	各現場代理人	
社会貢献活動			 
	(※)定期的な県道等の清掃活動及びボランティア活動の参加	工事部主任	
	(※)環境団体への支援及び参加	代表者(社長)	 
社内活動・採用活動			 
	・職場体験やインターンシップの受入 ・出前授業の実施・合同説明会の参加	代表者(社長)	
SDGs活動			
	・SDGsへの取り組み	全社員	

## 12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反・訴訟等の有無

確認日：2025年7月31日

※廃棄物処理法 第12条9・10項、第12条の3 7項は2025年6月30日確認

### (1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守状況
建設工事に係る資材の 再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	建設資材廃棄物の発生抑制、再資源化等に要する費用の低減努力、 再資源化された建設資材の使用努力	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第9条	分別解体等の実施義務	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第10条	対象工事等の届出等	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第12条	届出事項の説明等	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第13条	請負契約に係る書面の記載事項	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	第16条	再資源化等の実施義務	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	法第3条 第1項	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第7条	一般廃棄物収集運搬について各市町村長の許可を受ける	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	法第7条 13項	一般廃棄物収集運搬について基準に従い収集若しくは運搬又は処分を 行わなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第11条	事業者はその産業廃棄物を自ら処分する事	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第12条	産業廃棄物の運搬又は処分を行う場合には、産業廃棄物処理基準に 従わなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第12条 第5項~第7項	産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託する場合には、それぞれの 規程に定められた者に委託しなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第12条 9・10項	前年度1,000 t以上の産業廃棄物を排出した事業者は、多量排出事業 者計画届を県知事等に提出。又計画届を提出した事業者は翌年、県知事 等に多量排出事業者実施状況報告書を提出	1回/年 6月	総務部	遵守
	法第12条の3	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	法第12条の3 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事(高知県知事) への提出	1回/年 6月	総務部	遵守
	令第6条の2 第1号 第2号	処理を委託する相手は処理業の許可を有する。委託する業者は、委託しよ うとする廃棄物の処理が事業の範囲に含まれている事	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	令第6条の2 第4号	委託契約は書面で行なう事	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則 第1条の5	産業廃棄物の保管場所には、60cm角以上の掲示板を設置	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則第8条	産業廃棄物保管基準	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則 第8条の26	マニフェストの保存期間	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
規則 第8条の28	マニフェストの写しの送付を受けるまでの期間	2回/年 1月,7月	工事部	遵守	
資源の有効な利用の促進に 関する法律(リサイクル法)	第4条	原材料等の使用の合理化を行うとともに、再生資源及び再生部品の 利用促進(コ殻・ア殻・木材等)	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村に提出)	1回/年 7月	工事部	遵守

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守状況
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村に提出)	1回/年 7月	工事部	遵守
大気汚染防止法	第18条の15	特定粉じん排出等作業を伴う建設工事の届出 (作業開始14日前までに高知県知事へ)	1回/年 7月	工事部	遵守
	第18条の17	解体等工事に係る調査、説明等の実施、掲示	1回/年 7月	工事部	遵守
労働安全衛生法・同施行令 ・労働安全衛生規則	第14条・ 66条・88条	作業主任者等の指示、健康診断等、除去工事の事前届出 (14日前まで) 掘削の高さまたは深さが10m以上の地山掘削は労働基準監督署長へ 届出	1回/年 7月	工事部	遵守
建築基準法	第28条の2	建築材料に石綿等の政令で定める有害物質を添加しない、石綿等を あらかじめ添加した建築材料を使用しない	1回/年 7月	工事部	遵守
浄化槽法	第8条	浄化槽の保守点検の技術上の基準に従って行わなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第9条	浄化槽の清掃の技術上の基準に従って行わなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第10条	浄化槽の保守点検(1回/3ヶ月)及び浄化槽の清掃(1回/1年)を しなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第11条	毎年一回、指定検査機関の行う水質に関する検査を受けなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
水質汚濁防止法	第14条の6	公共用水域の水質保全を図るため、国又は地方公共団体による生活排 水対策の実施に協力しなければならない	1回/年 7月	全員	遵守
	第14条の7	生活排水を排出するものは、公共用水域の水質に対する生活排水による 汚濁の負荷の低減に資する設備に努めなければならない	1回/年 7月	全員	遵守
フロン排出抑制法	第16条	第一種特定製品のフロン漏洩点検・記録を実施する	4回/年 3か月毎	社長	遵守
特定特殊自動車排出ガスの 規制等に関する法律 (オフロード法)	第4条の2	国が実施する大気の汚染の防止に関する施策に協力する	1回/年 7月	工事部	遵守
排出ガス対策型建設機械の 普及促進に関する規程	国土交通省告示 第318号	工事中建設機械等の排出ガス対策型使用及び操作方法の統一	1回/年 7月	工事部	遵守
低騒音型・低振動型建設機 械の指定に関する規程	国土交通省告示 第487号	対策型ステッカー配布の建設機械を使用する	1回/年 7月	工事部	遵守
高知県環境基本条例	第6条・7条	基本理念に則り、事業活動及び日常生活に伴う環境への負荷の低減に 努めなければならない	1回/年 7月	工事部	遵守
黒潮町一般廃棄物処理 実施計画	令和元年度 黒潮町 一般廃棄物 処理実施計画	ごみの適正処理を実行する	1回/年 7月	全員	遵守
河川法	第24条・ 26条・27条	河川区域において土地の占用、工作物の新設等、土地の掘削・盛土等を 行う時は、河川管理者の許可が必要	1回/年 7月	工事部	遵守
	第29条	1日につき、50㎡以上の汚水又は排水の場合は河川管理者に届出	1回/年 7月	工事部	遵守
黒潮町伊与木川 清流保全条例	第5条・6条	町民及び事業者は町が実施する施策に協力しなければならない	1回/年 7月	全員	遵守
高知県四万十川の保全 及び流域の振興に関する 基本条例	第4条・7条	生態系及び景観の保全上の支障を予防、人と自然の共生、地域固有の 特性を活かした取組、住民その他関係者への必要情報の提供	その都度	全員	遵守
海洋汚染等及び海上災害の 防止に関する法律 (海洋汚染防止法)	第4条・5条	船舶からの油の排出禁止、油による海洋汚染防止の為の設備設置	1回/年 7月	工事部	遵守
	第9条の 2~4	船舶からの有害液体物質の排水の禁止、有害液体物質による海洋の 汚染の防止のための設備設置	1回/年 7月	工事部	遵守
道路法	第7条2 第47条	道路占用許可の申請 特殊車両通行の許可の申請	その都度	工事部	遵守
道路交通法	第77条	道路使用許可の申請	その都度	工事部	遵守

## (2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2024年8月1日～2025年7月31日の間、環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、  
環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情はありません。  
尚、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

### 13. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

報告者	環境管理責任者 打井 幸一
報告年月日	2025年 8月 31日

環境管理責任者の報告及び改善への提案			
①関連法規等の遵守状況	関連法規等に関する違反・訴訟はなし		
②問題点の是正処置状況	凍結による水漏れ処置及び目標未達成の項目について、目標値の見直しを行う		
③前回までの代表者の指示事項への対応	目標値の見直し・環境経営計画に新たな項目を追加		
④電気・化石燃料について 月間実績値が年間月平均値の3割を超えた理由	電気…夏の冷房、冬の暖房使用により増加 化石燃料…軽油については重機等の稼働により使用頻度が高かった		
環境経営目標・環境経営計画の達成状況			
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント
二酸化炭素削減 (燃料および電力)	○	○	重機などの稼働により左右される 電力は節電に努める
水使用量削減	×	×	本社・現場ともに節水及び漏水点検を行う
廃棄物排出量削減	○	○	引き続き、適切な廃棄物の分別・削減を徹底する
産業廃棄物再資源化率	○	○	工事内容により廃棄物の種類が変わるため比較が難しい 部分ではあるが、環境に配慮した処分場の選択に努める
グリーン購入の推進	○	○	引き続きグリーン商品の購入を意識する
環境に配慮した施工の 提案・実施	○	○	更なる取組を考慮する
社会貢献活動	○	○	今後も積極的にボランティア活動に参加する
周囲の変化の状況			
①外部コミュニケーション記録	外部からの苦情は無し。要望については適切に対処した		
②環境関連法規等の改訂動向	なし		

対象項目	変更の有無	代用者による評価及び指示事項
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	引き続き活動を推進する
環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	環境負荷の削減が十分ではない項目もあるが、 今後も目標達成に向けた取組を継続する
環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	定着している項目は除き、新たな項目を見出す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	環境管理責任者、EA21・SDGs推進室
環境経営システム (上記以外)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	エコアクション21、SDGsともにシステムとして 有効に機能している

※社長の指示を受けての是正内容  
指示に従い、動向を注視し  
今後の目標設定の変更を検討していく

作成年月日	2025年 8月 31日
社長承認サイン	山本 浩司

## 14. 環境活動の取組内容

### 1) 環境に配慮した施工の提案・実施

#### ■ 環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用



製鉄副産物から製造された藻礁・魚礁となる自然環境に優しい人口石材や道路工事等で伐採・剪定された草木が原材料のたい肥など、環境負荷の少ない材料の選定に努め、使用しています。

#### ◆入野地区投石漁礁設置工事



▲人口石材投下



▲藻礁・魚礁(鉄分・珪酸分などのミネラルを含む)

#### ◆道交地防安(1.5車)第103-041-1号 県道秋丸佐賀線 防災・安全交付金工事



▲攪拌(バークたい肥、油粕)  
たい肥はリサイクル製品を使用



▲土壌改良後には、11種類のポット苗を  
植え付け

#### ■ ICT(情報通信技術)工法等の導入



#### ・荷重判定装置の活用(積込機械の積載荷重判定システム)

従来の過積載管理は、重機オペレーターの目視確認により判断していました。新技術を採用し、バックホウに荷重判定装置を装着することで、積込作業を行いながら積載荷重の計測を行うことができました。過積載の防止とともに、最大積載量内で多くの土砂の積込みが可能となり交通事故の防止や、作業の効率化の向上にも繋がりました。

#### ◆令和5-6年度 窪川佐賀道路小黒川大橋下部A1外工事



▲バックホウキャビン内



▲モニター写真



▲軽量確認

■ 型枠・工事看板への間伐材の使用  
県内産・町内産木材の使用



◆道交地防安(1.5車)第103-041-1号  
県道秋丸佐賀線 防災・安全交付金工事



▲県内産木材を使用した木製型枠・間伐材を使用(安全掲示板)

◆令和6年度浜松更新住宅  
建築主体工事 I工区・II工区



▲県内産・町内産木材の使用

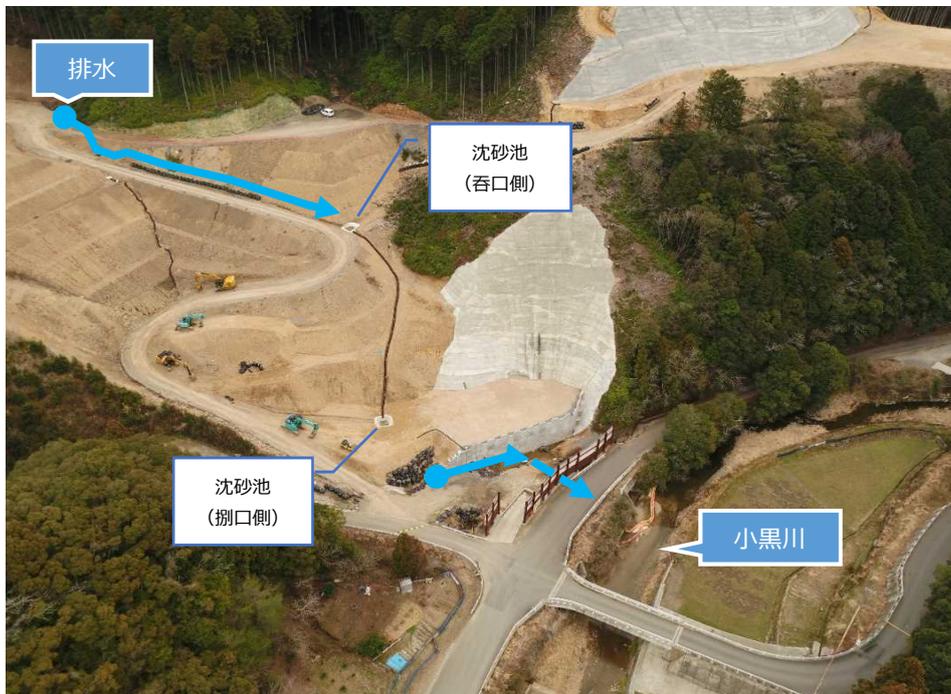
■ 土砂流出防止および濁水対策の実施



現場付近には小黒川があり、降雨時には濁水及び土砂が流出する恐れがありました。そのため、工所用進入路横に排水管と沈砂池(濁水を一時的に滞留させ、土砂を沈殿させたあと、上澄みを排水する池)を設け、流出防止の対策を行いました。

さらに流末部には、バイオログフィルターを設置し「環境配慮型濁水処理フィルター工法」による濁水対策を実施しました。

◆令和5-6年度 窪川佐賀道路小黒川大橋下部A1外工事



▲排水管・沈砂池(2か所)の設置



▲バイオログフィルターの設置

## 2) 地域・社会貢献活動

### ■ ロードボランティア活動



平成19年より、毎月1回(年12回)全社員を3班に分けての交代制で、ロードボランティア活動(清掃活動)を行っています。

※本社周辺及び県道25号線・県道334号線(中土佐佐賀線・佐賀港線)



### ■ 地元高校生と通学路(国道56号線沿い)の植栽セレモニー



2024年9月4日

地元高校生が通学路の利活用について考案し、広場にベンチやスツールの設置、シロツメクサや白樺を植栽するなどの整備工事に携わりました。広場の利活用計画の仕上げとして、学生たちとプランターに花を植えるセレモニーに参加しました。



### ■ インターンシップの受け入れ



高校生のインターンシップの受け入れを行いました。施工中の現場見学やドローンの操縦体験、UAV写真測量などをしてもらいました。

さらに、先輩社員とのランチ交流会を通して社内の雰囲気を知ってもらう機会にもなりました。インターンシップを通じて、建設業が学生のみなさんの将来の選択肢の一つになれば光栄です。



## ■ 「佐賀の伊与木川を守る会」への参加



「佐賀の伊与木川を守る会」は、旧佐賀町を流れる清流伊与木川の環境と川に住む生物（アユ・ウナギ・ツガニ等）の保護、また自然と川に親しみ、清流を孫の代まで残していくことを目的に活動しています。

### ・2025年4月21日 アユ(約4000匹)の放流

同会によって平成24年より開催され、今年も地元の保育園児たちと元気なアユを放流しました。



### ・2025年6月30日 ウナギの放流



## ■ 国道美化〈植栽〉活動へ参加



### ・2025年5月29日

観光客のみなさんやお遍路さんに気持ちよく通っていただくために、四万十町の影野小学校の生徒たちが、通学路に花を植えました。子供たちが安全に花植えられるように周辺の除草や危険物の撤去、植栽箇所を耕作し土を足して準備しました。

当日はあいにくの雨でしたがかわいい花をきれいに植えることができました。



子供たちに軍手を配っている様子



花植えの様子



### 3) 社内活動

#### ■ 緊急事態対応訓練の実施



緊急事態発生を想定した訓練を、毎年実施しています。万一の緊急事態に備え、早急に適切な対応ができるよう、訓練を通して対応手順や知識の向上を図ります。



▲土砂流出時の対応訓練



▲風水害時の対応訓練



▲火災時の対応訓練



▲油流出時の対応訓練



#### ■ 社内安全衛生会議



毎月1回、社内安全衛生会議を開催。またエコアクション21の審査後には昨年度の実績報告と見直しを行い、今年度の環境経営方針と環境経営計画、各自の役割分担の周知については、3ヶ月毎に確認を行っています。

遠方の現場においてはリモートでの参加も可能であり、燃料の使用量削減にも繋がりました。

#### ▼リモートにて参加



## ■ ジェンダー平等、女性社員の活躍を推進



### ・産休・育休取得

今年度1名の女性技術社員が、産前産後休業・育児休業を取得しています。仕事の心配することなく育児に専念できるようにサポートし、休暇後はスムーズに職場復帰できるように、環境を整えていきたいと思っています。



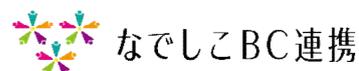
### ・女性社員による安全パトロール



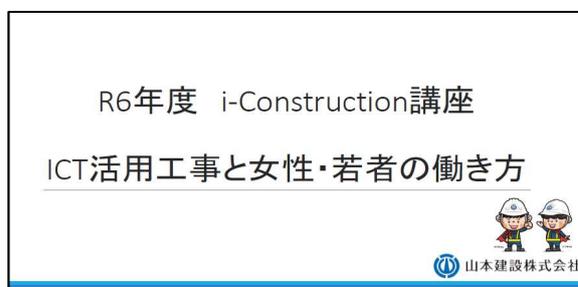
女性の視点で、現場および事務所の安全管理体制や作業環境を点検する安全パトロールを実施しています。さらに、点検後には、毎月行われる社内安全衛生会議にて結果を報告。改善点の見直しを図ることで、より安全で働きやすい職場環境を整えられるよう取り組んでいます。

### ・なでしこBC連携への加盟

主に徳島県の企業の女性社員を中心に、自然災害や有事の際に地域の枠を超え、協力体制を整え、お互いのBCP(事業継続計画)を見直しながら、防災対応力の向上を図る活動をしています。女性社員も積極的にBCP政策に取り組むことで、より厚みのある災害時対応の実現を考えています。



### ・「令和6年度 i-Construction講座」へ講師として参加



2024年11月15日

高知県主催「令和6年度 i-Construction講座」にて、ICT活用工事と女性・若者の働き方について発表させていただきました。

性別や年齢に関わらず活躍やスキルアップができる環境、また仕事と私生活を両立しながら働きつづけられる職場づくりに努めています。

## ■ 山本グループ社員旅行



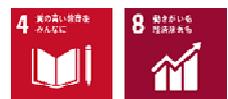
2025年4月、1班と2班に分かれて社員旅行に行ってきました。事前に社員みんなにアンケートを取り、沖縄に決定しました。今しか見ることが出来ない首里城の再建現場等を見学し、沖縄の美しい海や自然を満喫し、久しぶりの社員旅行で社員一同リフレッシュ出来たことと思います。今年入社の新入社員も参加することが出来てみんなとの親睦を深めることができました。



首里城再建現場見学



## ■ ICT出前授業の実施



新入社員も先輩社員に交わり、講師として参加しました。  
 昨年まで通っていた高校の3年生に建設業についての説明をしました。  
 測量の歴史と最新技術の違いを紹介し、実際に杭ナビやドローンを使って実習も行いました。



## ■ 「高知家」健康企業宣言



全国健康保険協会（協会けんぽ高知支部）と高知県が推進する健康経営「高知家」プロジェクトへ参加。

「高知家」健康企業宣言をしました。

職場の健康づくりのため「高知家健康パスポート」アプリへ事業所登録を行い、社員それぞれが毎日の歩数や血圧・体重測定の数値を記録し把握しています。

心身ともに健康で、充実した職場環境を目指しています。

## ■ 高知県ワークライフバランス認定企業



高知県より、「次世代育成支援」と「年次有給休暇の取得促進」の部門で登録し認証を受けています。男女分け隔てなく、仕事と家庭の調和を進め、長く働き続けられる職場環境づくりに努めていきます。



2025年7月14・15・16日

地域雇用創出の取り組みの一環として、地元高校生を受け入れた職場体験を行い、若手社員たちと鳥の巣箱づくりを体験してもらいました。

「野鳥の巣箱から学ぶ土木構造物」と題して、図面から設計を考えて、巣箱づくりを通して物をつくる工程を学んでもらい、環境への取り組みについても触れ合ってもらうことができました。

高校生たちと作った巣箱は、後日、現場近くの山に設置しました。

### 野鳥の巣箱から学ぶ土木構造物

大方高校の皆さん、こんにちは。今日は、野鳥の巣箱を作成する手順から土木構造物の出来ていく過程を知ってもらいたいと思います。

#### 1. 巣箱を利用する野鳥の選定(現地調査)

高知県だけでもたくさんの野鳥が生息しています。その中でも巣箱を使ってくれる可能性があるのは日本で子育てする留鳥と夏鳥です。

**留鳥:**メジロ、シジュウカラ、キジバト、アオゲラ、ミンサザイ、トラツグミ、ゴジュウカラ、カワセミ、モズ、イソヒヨドリ、セグロセキレイ、ヤマガラ、エナガ、ヒヨドリ、アオバト、カワラヒワ、ウグイス

**夏鳥:**ホトトギス、アカショウビン、オオルリ、キビタキ、サンコウチョウ、ヤイロチョウ、ブッポウソウ、アオバズク

そして、その中でも大木や老木の洞に営巣する野鳥たちなので**シジュウカラ**と**ヤマガラ**夏鳥では**ブッポウソウ**と**アオバズク**の4種類が該当します。

今回はその4種の中でも大きさが似ているシジュウカラとヤマガラが住みやすい大きさの巣箱を作成していこうと思います。

シジュウカラ



ヤマガラ



巣箱づくりの様子



巣箱完成・設置状況

社内報「飛翔」・安パトだよりの発行

年に4回の社内報と不定期の安パトだよりを発行し、社員と社員の家族に向けて発信しています。環境理念や社員の活躍また社内での出来事など情報共有することで、社内間の情報共有不足を解消。社内コミュニケーションの活性化にも繋がっています。

	飛翔	山本建設株式会社 かしま工業株式会社 橋東生コンクリート ネストウエストガーデン土佐
令和7（2025）年4月14日発行 No.159		

## 社長挨拶

皆様 お疲れ様です。

四月に入り令和7年度が始まりました。例年並みの3月末に咲き始めた桜は新年度に合わせて満開となりました。

先月中には小黒ノ川改良工事、小黒川大橋下部A1外工事、田野浦漁港工事、窪川維持工事の検査等があり、6年度における工事が完成しました。夏には一件労働災害があり、予期しない事もあった昨年度でしたが、その後は無災害で無事全ての工事が竣工できた事は社員皆様のお陰です。ありがとうございました。

国会においては7年度予算が成立し、2026年からの第一次国土強靱化中期計画は20兆円規模になるとの指針が示されました。温暖化の影響による大雨災害の増加や既存インフラ設備の老朽化が顕在化している中で、政局によらずインフラ整備の重要性が認められている状況です。地域においては四国地方整備局、県では昨年度より微増の予算編成となっています。本年度発注分の案件を早期に受注できる様に取り組んで参ります。

四月から工事部では森本蓮君、北阿渡君が入社しました。まだ分からない事ばかりだと思いますが、先輩に聞いて少しずつ出来そうな事を見つけてチャレンジして貰えたらと思います。本年度も報連相の取れた現場運営、皆で力を合わせる事が重要になります。先ずは社員皆様のご健康に気を付けて安全第一で令和7年度も宜しくお願致します。

「御安全に」

代表取締役 山本 浩司

### 環境理念

「真心と技術で社会とお付き合い」の精神で地域社会の発展に尽力を注ぎ、安全な国土・社会の形成を礎に建設工事を通して地域の美しい海・山・川を守り人と自然の共生を基本姿勢として、省資源・省エネルギー化を図り、低炭素で環境負荷の少ない循環型社会の実現に積極的に取り組めます。



【安全対策室より】

皆さんご苦労様です。

山本久夫さんが、3月末をもって退職されました。長い間、ご苦労様でした。前任者の足元にも及びませんが、引き継いで担当しますのでよろしくお願致します。令和6年度は残念ながら1件の労働災害が発生しました。注意すれば防げた事故だと思います。お互いの声掛けと目配り、気配りをしながら安全確保に努め、事故・怪我、労働災害のない現場作業に取り組んでいただけるようにお願致します。

工事についても、各現場で丁寧な施工をして頂き、品質・出来栄も良く完成されたと思います。維持工事以外の工事は、3月末までに完成検査を受けて、発注者に引き渡すことができました。届いている工事点数も良い結果となり、発注者からも高い評価を受けることが出来ました。何より、工事の評価については、事故や労働災害の発生がない事が基本的な条件ですから、現場での安全作業が重要となります。良い評価が今後の工事の受注に繋がりますので宜しくお願い致します。

令和7年度も、お互い安全な環境保持と安全作業を心掛け、各現場のご協力をお願いします。

工事部長 打井 幸一



優良賞おめでとうございます



秋丸佐賀線の現場代理人打井幸一さん、監理技術者の伊勢脇祐花さんが高知県知事より表彰されました。受賞おめでとうございます！お二人には朝礼で金一封が送られました！

**令和6年度 工事成績優秀企業に選ばれました！**

工事成績平均80点で、本年度も国土交通省四国地方整備局より、工事成績優秀企業に選ばれました。社員の皆さん、すべての関係者の皆さんのお陰です。ありがとうございます。

建築部からの現場報告です

令和6年度浜松更新住宅Ⅰ・Ⅱ工区建築主体工事が完成しました～！！



### エコ21フォローアップセミナー発表

10月3日、エコアクション21の認証を取得したばかりの企業向けにレポートの作成方法などを参考にしてもらうフォローアップセミナーに、環境経営レポート部門で賞を受賞した企業代表として山本建設が出席。レポートの発表を行いました。当日は約100名がセミナーを受講し、オンラインで行われました。佐野さん、打井さん、大役お疲れさまでした！

資料作成のプロ！

## 4) その他 環境およびSDGs活動

### ◆環境活動およびSDGs活動への参加

団体名	活動名	時期
高知商工会議所	おらんくのストップ温暖化宣言	2013年12月～
高知県林業振興・環境部	ウォームビズ四国・クールビズ四国 キャンペーン参加	2017年11月～
高知県地域温暖化防止県民会議 県民部会事務局 環境の杜こうち	環境にやさしい買い物キャンペーン2024	2024年10・11月
EA21地域事務局 ECO-KEEA九環協	2024年度 EA21 認証・登録事業者向け アフターフォローアップセミナー	2024年10月3日
88クリーンウォーク四国 実行委員会事務局	88クリーンウォーク四国	2024年8月8日
Kochi SDGs Action	SDGs活性化プロジェクト「Kochi SDGs Action」	2024年

### ◆環境団体への支援

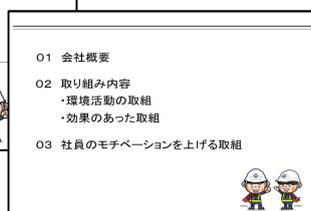
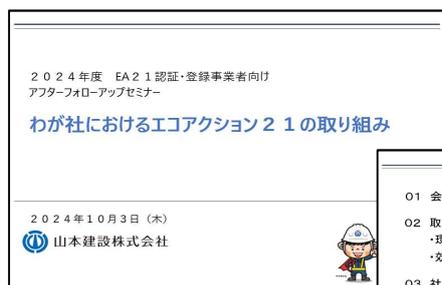
支援団体	支援内容	支援年
佐賀の伊与木川を守る会	伊与木川の環境保護活動	2024年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2025年7月

### ■ EA21 認証・登録事業者向けアフターフォローアップセミナーの参加



2024年10月3日 EA21地域事務局 ECO-KEEA九環協様 主催「EA21 認証・登録事業者向けアフターフォローアップセミナー」において、環境活動の実例を発表。セミナーは、オンライン形式で行われ、九州地方の多くの企業様にお話を聞いていただくことができました。

今回のセミナーを参考に、環境活動に取り組む企業様がを増えることを期待し、少しでも取り組みのお役に立てれば幸いです。今後も、環境活動及びSDGs推進に取り組んでまいります。



### ■ 交通エコポイント活用社会還元事業「ですかでゴー」



小学校の校外学習での移動の際に、ICカード「ですか」を無料貸出。地球温暖化防止活動の一環として、車に比べCO<sub>2</sub>の排出が少ない公共交通とその利用方法の体験ができ、公共交通の利用がCO<sub>2</sub>の排出抑制に繋がることを学んでもらう機会にもなります。

子どもたちにとって、公共交通が身近な移動手段の選択肢となるよう、当社も毎年協力しています。

## 5) 外部表彰

### ◆表彰状

年月日	表彰授与機関	表彰名	工事名	
令和7年7月29日	国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所長 柳川克一氏	優良工事	令和5-6年度 窪川佐賀道路 小黒川大橋下部A1外工事	※1
令和7年度	高知県知事 濱田省司氏	優良賞	漁保全第3-100-2号 田野浦漁港 水産基盤ストックマネジメント工事	
令和6年9月13日	高知県知事 濱田省司氏	優良賞	道交地防安(1.5車)第9103-04-1号 県道秋丸佐賀線 防災・安全交付金工事	※2
令和5年12月18日	高知県幡多土木事務所長 大野栄一氏	所長賞	道交地防安(1.5車)第9103-04-1号 県道秋丸佐賀線 防災・安全交付金工事	

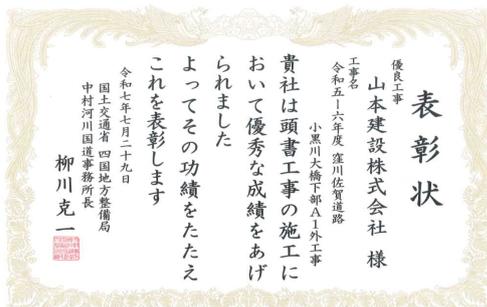
### ◆感謝状

年月日	表彰授与機関	表彰名
令和7年5月26日	高知県地球温暖化防止県民部会 会長 濱田省司氏	感謝状
2021年度	一般財団法人持続性推進機構 エコアクション21 中央事務局 理事長 森本英香氏	永年継続事業者感謝状

### ◆その他

年月日	表彰授与機関	表彰名	
令和7年3月22日	一般財団法人持続性推進機構 理事長 森本英香氏	エコアクション21オブザイヤー2024 環境経営レポート部門「銅賞」	※3
令和6年7月25日	国土交通省 四国地方整備局長	令和6年度 工事成績優秀企業認定書	
令和6年3月24日	一般財団法人持続性推進機構 理事長 森本英香氏	エコアクション21オブザイヤー2023 環境経営レポート部門「銀賞」	※4
令和6年3月18日	高知家健康パスポート事務局	表彰状	
令和5年10月20日	高知県地球温暖化防止県民会議 事業者部会長 内田洋子氏	県民部会長賞	

※1



▲ 国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 優良工事  
令和5-6年度 窪川佐賀道路小黒川大橋下部A1外工事

※2



▲ 高知県優良建設工事  
道交地防安(1.5車)第9103-041-1号  
県道秋丸佐賀線 防災・安全交付金工事

エコアクション21オブザイヤー2023  
環境経営レポート部門『銀賞』を受賞いたしました✦

※4



エコアクション21オブザイヤー2024 環境経営レポート部門で『銅賞』を受賞✦

※3



令和4年度の「環境経営レポート部門 銀賞」に続き、令和5年度も「環境経営レポート部門 銅賞」を受賞することができました。

これからも改めて、社員一丸となりエコアクション21を進めながら、SDGs活動に積極的に取り組み、環境負荷の低減に努めるとともに、社会へ貢献する企業を目指してまいります。

真心と技術で  
社会とお付き合い



山本建設株式会社

